



CREATE HOPE
in the WORLD

世界に希望を生み出そう

2023～24年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2023～2024)

会 長/稲 田 玲 子

幹 事/弘 内 英 一 郎

会報委員長/川 邊 浩 之

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2788

第2919回 令和6年4月17日（晴れ）

本日のプログラム：ゲストスピーチ 四万十市役所（子育て支援課）

4月24日(水)：会員スピーチ 土森 正一会員

5月1日(水)：休会（定款第7条第1節）

【会長挨拶】稲田 玲子会長

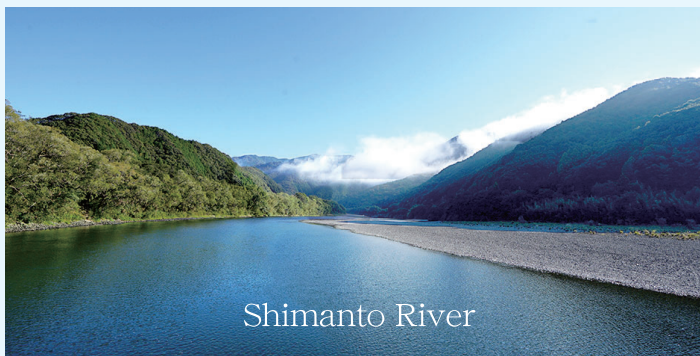
- ・皆さんこんにちは。今日は気温が上がり大変暑い一日となりました。
- ・まずはゲストの紹介です。四万十市子育て支援課 中脇弘樹課長と濱田英利課長補佐です。後ほどスピーチをお願いします。
- ・14日は5クラブ親睦のゴルフコンペが開催されました。仁淀RC、須崎RC、四万十RC、宿毛RCと当クラブ、合計26名の参加で賑やかに行われました。優勝は宿毛クラブの池さんでした。私も以前、ゴルフをしていましたが、腱鞘炎となり10年ほどしていません。今回も会長として参加できなくて申し訳ありませんでした。当日も絶好のゴルフ日和で楽しい親睦ができたと聞いております。荒川親睦委員長お疲れ様でした。
- ・4月17日、今日はパリオリンピック開幕まで100日。古代オリンピック発祥の地ギリシャのオリンピア遺跡で聖火の採火式が行われ、聖火リレーがスタートしました。開幕は7月26日、パリらしい華やかでおしゃれな開幕式が楽しみです。

【幹事報告】弘内英一郎幹事

- ・ガバナー事務所より
本年度地区大会登録・出席のお願い
見込みより少ないので、今一度登録の検討してほしいとの事
- ・ガバナーエレクト事務所より
2024-25年度クラブ事務局名簿
- ・小松島南RCより
創立50周年記念式典参加のお礼状
- ・四万十川ウルトラマラソン実行委員会より
第30回大会実行委員への就任及び実行委員会開催について
4/26（金）15:30～西土佐ふれあいホール
- ・社会的養護自立支援事業所「あおば」より
制度廃止に伴い、3月31日にて「あおば」は閉業しましたが、新年度より引き続き児童の自立支援を行う事業形態とします。



悠久の流れを未来に継ぎよう



Shimanto River

【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 四万十市役所（子育て支援課）



■中脇 弘樹課長

子育て支援課の中脇です。今日は本課の事業説明の他、会員の皆さまへ本市施策への参画・協力をお願いにきましたのでよろしくお願いします。

まず、本市の置かれている状況について、人口動態の点から少し説明いたします。

本市では長らく死亡者数が出生者数を上回る人口自然減状態が続いており、出生者数は令和3年以降は年間200人を切っています。

次に、市内の住民基本台帳人口は、令和6年3月末日時点で31,465人と、約19年間で、6,838人が減少しています。次に合計特殊出生率についてですが、人口維持に必要な合計特殊出生率は2.07～2.08程度といわれていますが、本市は令和3年に1.34、令和4年に1.45と、1.5を切る状況となっています。

移住による社会増も重要ですが、日本の人口を各地域で奪い合うだけではだめなので、やはりこの合計特殊出生率を全国すべての自治体で向上させていくという意識は重要と考えます。

続いて、市の子育て支援策を説明します。

（スライドにて説明）

企画系の令和6年度主要事業は、①結婚支援センター民間委託、②放課後児童クラブ等委託業務、③こども計画策定の3つです。また共同保育所改築事業と一時預かり事業の拡充も重要です。その他、恒常的な施策も含めて、子育て支援に取り組んでまいります。

続きまして皆様に子育て施策へのご協力をお願いをさせていただきます。まずは、合計特殊出生率を増やすためにご協力をお願いします。

～スライドにて子どもの出産に関する様々なアンケート結果に基づいて説明～

二人めを出産するにあたりましては、とにかく夫の協力が第一であることが判明しています。つまり、夫が育児に関わっていれば、2人目を希望する率は約3倍になるとも言えます。夫の育児参加が、2人目を希望する上で非常に大きい要素であるということがわかります。

また、経済状況は物理的な絶対条件と考えがちですが、1人目の子育てを経験した女性にとって、優先されるのはお金ではない結果となっています。「経済的な問題よりも、夫の育児への関わりの方が2子目以降の出産への影響が大きい」ということです。

現在、男性の育児参画に向けた法改正では、男性が育休を取得するか、意向を確認する義務が事業主に課せられたり、男性版の産休が創設される見込みであるなど、男性のさらなる育児参画に向けた制度整備が進んでいます。

資料記載のとおり、母親が休暇を取りやすくするだけでなく、父親が休暇・休業を取得し、出産後の育児に主体的に関わることが当たり前な社会を目指し、今後も様々な改正が行われる見込みです。ロータリークラブの皆様は経営者の方が多いと聞いております。夫が育児に参加しやすいよう、これらの休暇を取ることが当たり前になることで、その後育児に関わることが当たり前になっていき、合計特殊出生率に影響があるものと考えます。

ここで皆様へのお願いですが、各事業所におかれましては、対象職員がいる場合、休暇取得を促し、かつ育児への参加を呼び掛けるなどのご協力を頂ければ幸いです。

【ニコニコ箱】

稲田会長：5クラブ親睦コンペお疲れ様でした。

弘内幹事：先日開催の5クラブ親睦コンペお疲れ様でした。団体戦は、宿毛RC優勝で中村RCは準優勝でした。

個人では3位でまずまずでした。ご参加の皆様お疲れ様でした。

永木会員：春の交通安全街頭指導に、荒川会員、永富会員にご協力いただきありがとうございました。

鳥谷会員：先週は遅れてすいません。永木さん、星野さんありがとうございました。

大塚会員：田中会員がユートピアCC16番ホールでホールインワンを達成されました。誠にめでたうございます。お祝いコンペを8月に行うそうです。

【出席報告】 ・会員総数58名（免除会員6名）

・本日の出席/33名 70.21%

・先週の訂正 M7 71.11%→88.89%